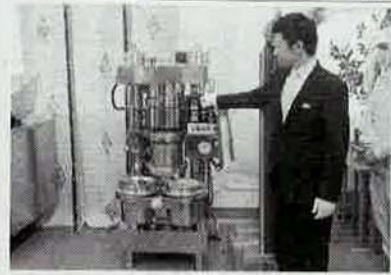


太田油脂

椿御灯明油搾り初め式

伊勢神宮式年遷宮に奉献

太田油脂は7月25日、本社工場で椿御灯明油「奉献搾り初め式」を行った。この椿御灯明油は伊勢神宮の第62回式年遷宮のために奉献するもの。同社は93年の第61回式年遷宮で初めて奉献しており、今回は2回目となる。



御神体を新宮殿に遷す「遷御」の際、新宮殿で最初に灯す唯一の灯りに椿油を使用。椿油は油煙が少なく新宮殿を汚さないため、現在、純度の高い椿油を搾油できるのは国内では同社のみ。搾り初め式では奉献清め神事が執り行われた後、椿の実を破碎機で破碎し、独自

技術と昔ながらの一番搾り製法による搾油が行われた。今回の原料には伊豆諸島産を100kg仕入れており、「物作りを行う当社にとって椿御灯明油を奉献できることは誇りであり責任重大。最高の品質に磨き上げる」(太田健介社長)と厳選した高純度の椿油16kgを8月23日に奉納する予定。

同社は49年から宮内庁に、62年から伊勢神宮に菜種油の御灯明油の納入を開始。伊勢神宮ではお

供え物を育てる畑を所有しており、その中でも同社の菜種油かすの手作り肥料が使われている。